



分子イメージング連携特別講義



「医工学におけるトレーサー法の意義と 動態解析」

講師：渡部浩司 先生

大阪大学大学院医学系研究科 医薬分子イメージング学分野 准教授

概要：PETやSPECTなどの核医学的手法を用いることにより、生体に投与した放射性薬剤(トレーサー)の体内分布を画像化できる。しかし、実際に得られる信号は、さまざまな放射線線源からの信号が混合したものであり、これらの信号から我々の求める情報を抽出する必要がある。そのような用途に、「トレーサー解析」は極めて有効である。

本講義では、トレーサー解析の基本を概説し、実際の応用例を示すことにより、医工学分野のトレーサー法の意義に関して議論する。

日時：12月22日(木) 15:00 – 16:30
場所：青葉山キャンパス工学研究科機械・
知能系ナノ医工学研究棟 講堂
<http://www.nanobme.org/contact/index.html>

連絡先：医学系研究科機能薬理学分野
田代学、古本祥三・谷内一彦(717-8055)
(東北大学分子イメージング研究推進室)
共催：東北大学グローバルCOE「新世紀世界の
成長焦点に築くナノ医工学拠点」